



Success File.12

鍼灸師・スポーツトレーナー

吉村 裕美さん

Hiromi Yoshimura

癒すだけじゃなく 「治せる」治療家になりたい

大好きなスポーツを選手としてではなく、トレーナーとして関わっていくことを決意した吉村さん。大学卒業後、資格取得が目的で早稲田医療に入学した彼女が得たものは、新たな道と治療家としての夢だった。

楽しさにハマっていったという。

「どうせなら、トレーナーとしてオリンピックに出てやろう！って気持ちでした」

日本にはスポーツトレーナーとしての明確な規定が無いので、知人に何か資格をもったほうが良い、と勧められ、早稲田医療に入学を決めた。

新たな道を早稲田医療が 与えてくれた

資格取得のために入学したという吉村さんだが、ある先生に出会って新たな道を発見した。

「町田先生（現校長補佐）の解剖学の授業に感銘をうけて…、スゴイな、深いなと思って。トレーナーになりたいから資格を取ろうってだけじゃダメだなって」

そして、日本国内では実施することができないため、アメリカで行われる解剖実習に2年次に2回、3年次に1回参加した。

「3回も行ったのは私だけだと思います（笑）。でも、人の体に鍼をうつわけですから、体のことをよく知らなくてはなりませんから」

早稲田医療で学んだ様々な事柄が、彼女に鍼灸師という、もう一つの選択

入学を決めたのは知人に勧められた資格取得のためだった

大学1年生まで選手として活躍していた吉村さん。スポーツトレーナーをめざすきっかけになったのは、肉皮にも自分自身のケガだった。

「高校時代のケガが悪化して。ちょうどその頃、トップチームから『誰かトレーナーやってみたい人はいないか？』って声があって。選手で一番になれるなら、トレーナーで一番になろう！って思ったんです」

当時、鍼灸には特に関心がなかった彼女は、スポーツトレーナーとしての



My Personal Data

プロフィール

北海道立岩見沢高等学校出身。日本体育大学卒業後、早稲田医療専門学校・東洋医療鍼灸学科1部に入学。2000年3月卒業。小学校時代からバスケットボールを始め、大学1年生まで選手として活躍。

職場のPR

吉村さんの勤務する、Tamaヒーリング・オフィスは、高見透氏が院長を務める治療院。高見氏は日本で唯一カイロドクター資格とNATA (National Athletic Trainers Association) 公認アスレチックトレーナー資格の両方を取得しているドクター。

高見氏のもとで修行を積み、フリーという立場で往診治療を行う。スポーツトレーナーとしても積極的に活動中。昨年の夏季から、静岡選抜チームのトレーナーとして団体に参加。



ら夢と言えば、治せる治療家になることですね。スポーツ選手にしても、一般の患者さんにしても、私にとっては同じ患者さんですから

肢を与えた。

求められることは治せるか 治せないかだと思うんです

卒業後、まだまだ学ぶ必要があると考えた吉村さんは、治療院に弟子入りというかたちで社会への第一歩を踏み出した。

「今は治療院での修行を続けながら、個人でも往診をしています。トレーナーとしての仕事は、どこに所属とかではありませんが、話ができれば、という感じです」

この夏、某大学陸上部の夏合宿に同行し、スポーツトレーナーとしての道も着実に歩み始めている。

「今回、監督さんから『また是非』っていう言葉を頂きましたし、選手からも『またきてください』って言ってもらえただけで、私としてもさらに期待に応えられるように勉強していきたいと思います」

これからも鍼灸師、スポーツトレーナーと二刀流を続けていきたいという。最後に吉村さんの夢を聞いてみた。

「治療家として求められることは、治せるか治せないかだと思うんです。だか

「ATTACCA」2001 Autumn
発行：株式会社 毎日コミュニケーションズ
から抜粋
(2001年9月発行)